

1 題材名 幼児の生活と家族

2 題材の目標

- 幼児の心身の発達や遊びに関心をもって幼児の観察や遊び道具の製作、幼児と触れ合う活動に取り組み、幼児と適切にかかわろうとしている。 (生活や技術への関心・意欲・態度)
- 幼児の心身の発達に応じた遊び道具や遊び方、幼児との関わり方について考え、工夫している。 (生活を工夫し創造する能力)
- 幼児の遊びと心身の発達とのかかわりについて観点に基づいて観察し、整理することができる。 (生活の技能)
- 幼児の心身の発達の特徴と遊びの意義について理解している。 (生活や技術についての知識・理解)

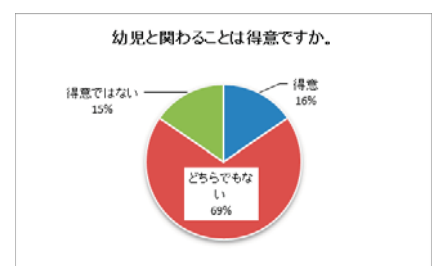
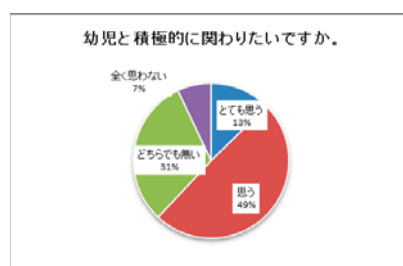
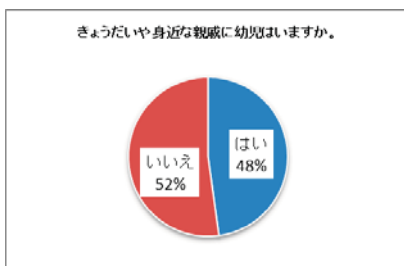
3 題材の指導にあたって

(1) 題材について

本題材は、幼児との触れ合いや家族・家庭に関する実践的・体験的な学習活動を通して、幼児に関心をもたせるとともに、自分の成長や家族・家庭、幼児の発達と生活について関心と理解を深め、家族や幼児に主体的にかかわることができるようにすることをねらいとしている。

近年、生徒を取り巻く環境としては、少子高齢化や核家族化が進み、異年齢との交流が減少してきていることから、将来にわたって自立した生活を送るためには、幼児との触れ合い体験は必要不可欠になってきていると考える。また、幼児への関心を高め、幼児に関する基礎的・基本的な知識を身に付けた上で触れ合うことで、生活を工夫し、実践しようとする意欲と態度を育てたいと考える。

(2) 生徒の実態 (平成*年*月実施 **立**中学校 第*学年 *人)



本校第*学年の生徒に実態調査を行ったところ、身近な場所に幼児がいる生徒とそうでない生徒は約半数ずつであった。しかし、身近な幼児とのかかわり合いは少なくとも、幼児と積極的に関わりたいと考えている生徒は多く、幼児とかかわることへの意欲が高いと感じられる。その一方で、幼児とかかわることへの不安を抱えている生徒も少なくない。その理由としては、「そもそもかかわり方が分からない。」、「幼児が苦手である。」等があげられており、経験不足が生徒の不安材料になっていることが分かった。

(3) 指導について

本題材では、実践的・体験的な学習活動を取り入れた問題解決的な題材構成の工夫を通して、生徒の思考力・判断力・表現力を育みたいと考える。具体的には、幼児との触れ合い活動などの体験活動を、導入の段階と実践の段階で2回実施する。1回目ですでに得た課題を共有して考えを深めることで、思考力・判断力

を高め、2回目ではその知識や技術を活用して体験活動を行うことで、幼児とのかかわりを工夫して実践することができるようにしたい。また、体験活動だけでなく、感じたことをまとめる活動を入れることで思考力・判断力・表現力を育成していきたいと考える。

4 研究テーマとの関わり

(1) 知識・技能の定着を図るために

本題材では、実際の幼児の行動を観察したり、触れ合ったりすることで、心身の発達や遊びの意義について実感を伴いながら知識・技能を定着していくようにする。

(2) 思考力・判断力・表現力の育成のために

幼児との触れ合い活動で感じたことを小グループで話し合い、幼児の様子やかかわり方の課題を共有する学習活動を設ける。また、1回目の触れ合い活動では、心身の発達やどのような遊びをしていたかをまとめる活動を行い、第2回の触れ合い活動後には、幼児に関するレポート作成を行い、体験から得た情報を言葉や図表にわかりやすくまとめ、説明する学習活動を設ける。

5 指導計画(14時間取り扱い)

時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法			
		生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
1 2 3	○幼児の心身の発達の特徴について理解することができる。 ・自分の成長記録を見て幼いころを振り返る。 ・幼児の心身の発達について考える。				・幼児の身体の発育や運動の機能、言語、情緒、社会性について理解している。 (ペーパーテスト)
4 5	○保育園訪問をし、施設や幼児を観察して課題を見付けることができる。 ・幼児の心身の発達や遊びについて観察する。	・幼児との触れ合いを通して関心をもとうとしている。 (行動観察・ワークシート)		・幼児との触れ合いを通して発達に応じた遊び方や、かかわり方について観察し、整理することができる。 (ワークシート)	

6 7	<p>○幼児の心身の発達に応じた遊び方や遊び道具の製作計画を工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊びの重要性を知る。 ・体験から学んだことを生かして遊びの計画を立てる。 ・同じ年齢のグループで幼児の発達に応じた遊び方や遊び道具について班で話し合い、計画した内容を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発達に応じた遊び道具について関心を持ち、課題を主体的に捉え、遊びや遊び道具の計画に取り組みようとしている。 <p>(行動観察・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項や体験を生かして遊び方や遊び道具の製作計画を自分なりに工夫したり、観察したことを生かして考えたりしている。 <p>(行動観察・ワークシート)</p>		
8 9 10	<p>○発達段階に応じた遊び道具を製作したり遊び方を計画したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿って遊び道具を製作する。 ・幼児とのかかわり方のシミュレーションをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊び道具製作に関心を持ち、主体的に取り組みようとしている。 <p>(行動観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び道具を製作する中で、体験や既習事項を生かして製作を工夫している。 <p>(行動観察・ワークシート)</p>		
11 12	<p>○保育園訪問をし、製作した遊び道具を用いて遊んだり、1回目の経験を生かしたりして幼児とのかかわり方を工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作した遊び道具で遊ぶ。 ・幼児の好きな遊びで遊ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発達に応じた遊び方や、幼児とのかかわり方について自分なりに工夫したり、1回目の経験を生かしたりして考えている。 <p>(行動観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊びや心身の発達について感じたことを観点に基づいてまとめることができる。 <p>(ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊びの重要性を理解している。 <p>(ペーパーテスト)</p>
13 14	<p>○幼児との触れ合い活動について振り返り、テーマを設けてレポート作成をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿ってレポート作成をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との触れ合いの中から新たな課題を発見し、工夫してテーマを設定している。 <p>(ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・触れ合い体験を通して気付いたことや遊びの重要性、心身の発達の特徴について図や表、写真を使ってレポートにまとめることができる。 <p>(レポート)</p>	

6 本時の指導

(1) 目標

既習事項や体験を生かして遊び方や遊び道具の製作計画を自分なりに工夫したり、観察したことを生かしたりして考えている。
(生活を工夫し創造する能力)

(2) 準備・資料

個人ワークシート、プロジェクタ、パソコン、写真資料、ミニホワイトボード

(3) 展開

学習活動・内容	教師の支援・評価 ★「おおむね満足に伸ばす手立て」					
<p>1 第1回保育園訪問の写真のプロジェクタで振り返る。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>体験したことや学習したことを生かしておもちゃ作りや遊びの計画を立てよう。</p> </div> <p>3 個人で立案した計画をもとに、グループで遊びの計画について話し合う。</p> <p>(1) 個人計画の発表をする。</p> <p>(2) 実践することを検討する。</p> <p>(3) まとめてミニホワイトボードに記入する。</p> <p>4 班で計画した内容を発表する。</p> <p>(1) 班で計画した内容を発表する。</p> <p>(2) 質問を受ける。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>(1) ステップアップカードに本時のステップアップを記入する。</p> <p>(2) 次時の学習について確認する。</p>	<p>・保育園訪問をしたときの写真をスライドショーで流し、意欲を高めるようにする。</p> <p>・既習事項や体験活動を生かした計画にできるように、助言する。</p> <p>・話し合いに必要な自分の意見をまとめておけるように、個人ワークシートを確認する。</p> <p>★計画がまとまっていない生徒には、他の生徒の意見を参考にしながら発言できるように支援する。</p> <p>・検討の場面では、発達段階にあった計画か、その遊びで幼児がどのような能力が身に付くかをイメージしながら考えるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>体験したことや既習事項を生かしておもちゃづくりや遊びの計画を考えている。</p> <p style="text-align: right;">(生活を工夫し創造する能力)</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">概ね満足 (B)</th> <th style="width: 50%;">十分満足 (A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体験したことや既習事項をもとに遊び道具の製作や遊びの計画について考えている。</td> <td>体験したことや既習事項をもとに幼児の発達段階に合った遊び道具の製作や遊びの計画を工夫して考えている。</td> </tr> </tbody> </table>	概ね満足 (B)	十分満足 (A)	体験したことや既習事項をもとに遊び道具の製作や遊びの計画について考えている。	体験したことや既習事項をもとに幼児の発達段階に合った遊び道具の製作や遊びの計画を工夫して考えている。	<p>・どのような能力を身に付ける遊びなのかを伝わりやすく説明できるように、ポイントを押さえて発表できるように助言する。</p> <p>・工夫点を発表するときには、なぜそのような工夫を取り入れたかを説明できるようにする。</p> <p>・他の班の発表を聞きながら、疑問点や参考点を言えるようにし、思考を高める場面を意図的に設ける。</p> <p>・本時の課題を振り返り、達成できたことを記入できるようにする。</p> <p>・単なる感想ではなく、理解したことや工夫したことを、言葉で表現できるようにする。</p>
概ね満足 (B)		十分満足 (A)				
体験したことや既習事項をもとに遊び道具の製作や遊びの計画について考えている。		体験したことや既習事項をもとに幼児の発達段階に合った遊び道具の製作や遊びの計画を工夫して考えている。				